

令和2年度使用 小学校社会科（地図帳）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><「地形図、分布図、地勢図として活用する場合、色合い・グラフ・国名表記など、適切に表現されているか？」について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ UD書体を採用して誰にでも見やすい工夫がされている。 ○ 基本の色使いは国内も世界地図も等高段彩表現のみを採用しているため、土地の高低を理解しやすく立体的にみることができる工夫がされている。 ○ 山や海底の描写が立体的に表現されており、高さや深さを理解しやすい工夫がされている。 ○ 都道府県の統計が見開き1ページに大きく掲載されていて見やすい工夫がされている。 <p><学習内容とのつながりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ページ番号順にめくっていくと対象となる地域が北上していくシンプルな構造のため、児童が対象地域を見つけやすい工夫がされている。 ○ ページ数が少なく、指導するページ選定が素早くできる工夫がされている。 ○ 日本史の中で、世界と関わっている時代をピックアップして、当時の世界地図を掲載しているため、第6学年の社会で活用することができるように工夫がされている。 △ 第3学年で指導する地図帳の使い方や地図の在り方についての説明を、より大きく詳しく掲載する必要がある。 △ 学習内容に関連した特設枠や特設ページが少ない。関連して指導ができるような工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> △ インデックスが表紙からは見えずに調べにくい工夫が必要である。 △ ページ数が102ページと少ないが382gと重い。
帝国書院	<p><「地形図、分布図、地勢図として活用する場合、色合い・グラフ・国名表記など、適切に表現されているか？」について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ UDフォントを採用して誰にでも見やすい工夫がされている。 ○ 全ページにおいて等高段彩表現による色分けのコントラストがはっきりしており、児童にとって見やすい工夫がされている。また、等高段彩表現だけでなく土地利用表現の併用していることにより、土地利用の観点から学習する地域を学ぶことができる。世界地図では等高段彩表現を採用しているページと各国色別に表現したページが掲載されているため、各国の形や位置が分かりやすい。 ○ 資料図で掲載されているグラフが多く、資料の読取りにつなげやすい。 △ 等高段彩表現と土地利用表現の併用により、二元的な見方が必要となるため、正しく理解させる工夫が必要である。 <p><学習内容とのつながりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導が始まる第3学年の導入において、地図の役割や方位、地図記号、使い方等の説明が詳しく、見やすく設定されており、理解しやすい工夫が見られる。

- 「広く見わたす地図」と「都道府県を見る地図」を地方ごとに掲載することで、全体としての位置関係と詳細な県の情報が結びつきやすい工夫がされている。さらに、学習する地域の拡大地図や必要な情報のみ選定して載せた地図等を多数掲載しており、学習内容に関係づけやすい工夫がされている。
- 各地方を扱うページ数が多く、細やかな指導ができる。
- 資料図では、地形や気候等の項目ごとに焦点化してページが分けられており、見やすく情報が整理されている。
- 防災・減災に関わる資料を見開き2ページにわたって掲載している。また、その中で学習の流れ「つかむ」「調べる」「まとめる」の流れで学習ができるように効果的に資料が掲載されている。
- △ 「広く見わたす地図」と「都道府県を見る地図」が分かれているため、全体を見わたす活動と対象の都道府県を見る活動の間にタイムラグが生じるため、工夫が必要である。

<その他>

- ページ数が120ページと多いが344gと軽い。